

はじめに

- 当科では、器質的、機能的な嚥下障害に加え、心因的な要因による摂食・嚥下障害を扱うことも多い。
- 今回、心因的な要因で嚥下困難感を訴えていると思われたが、実際に、咽頭クリアランスが低下しており、器質・機能的な低下も考えられる症例を経験した。
- 経過について考察を加え、報告する。